

議会だより

今日から1年生



遊佐小学校

3月定例会

平成31年度予算	P. 2
町政を問う 一般質問(7人登壇)	P. 6
意見書の提出	P.10
庁舎建設に関する調査特別委員会 結果報告	P.11
3億4,100万円を減額 30年度補正予算	P.12
3月定例会の議案結果・傍聴者数	P.14
議会クイズ・編集室より	P.16

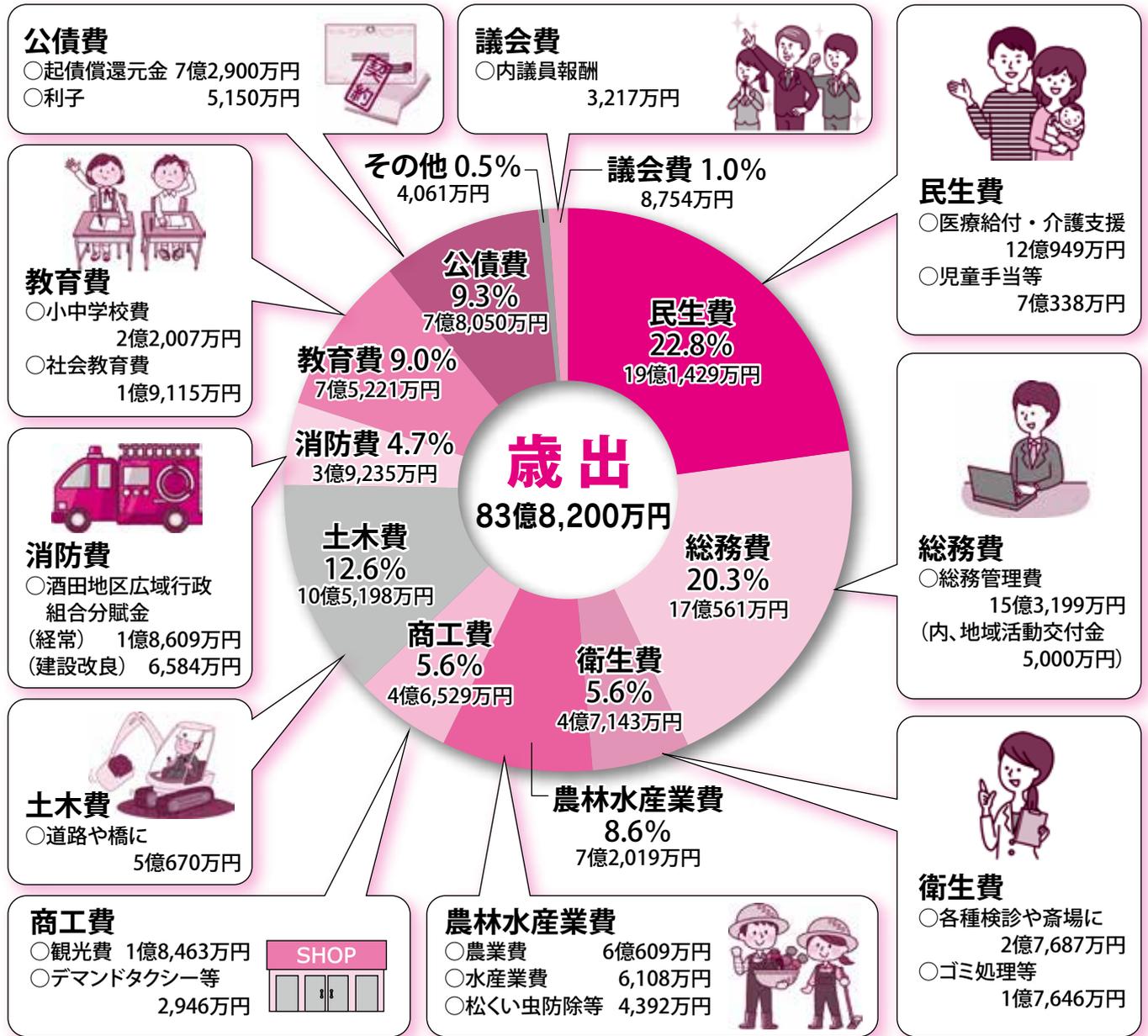
31年度予算可決

3月定例会

会期 3月5日から15日

歳出 では…

新庁舎建設事業として5億9,923万円、町道維持整備・新設事業に1億5,355万円。すくすくゆざっ子支援金2,896万円、住宅リフォームや建設支援金6,000万円を計上するなど、子育てと定住施策を継続しています。(P4・5に関連記事)



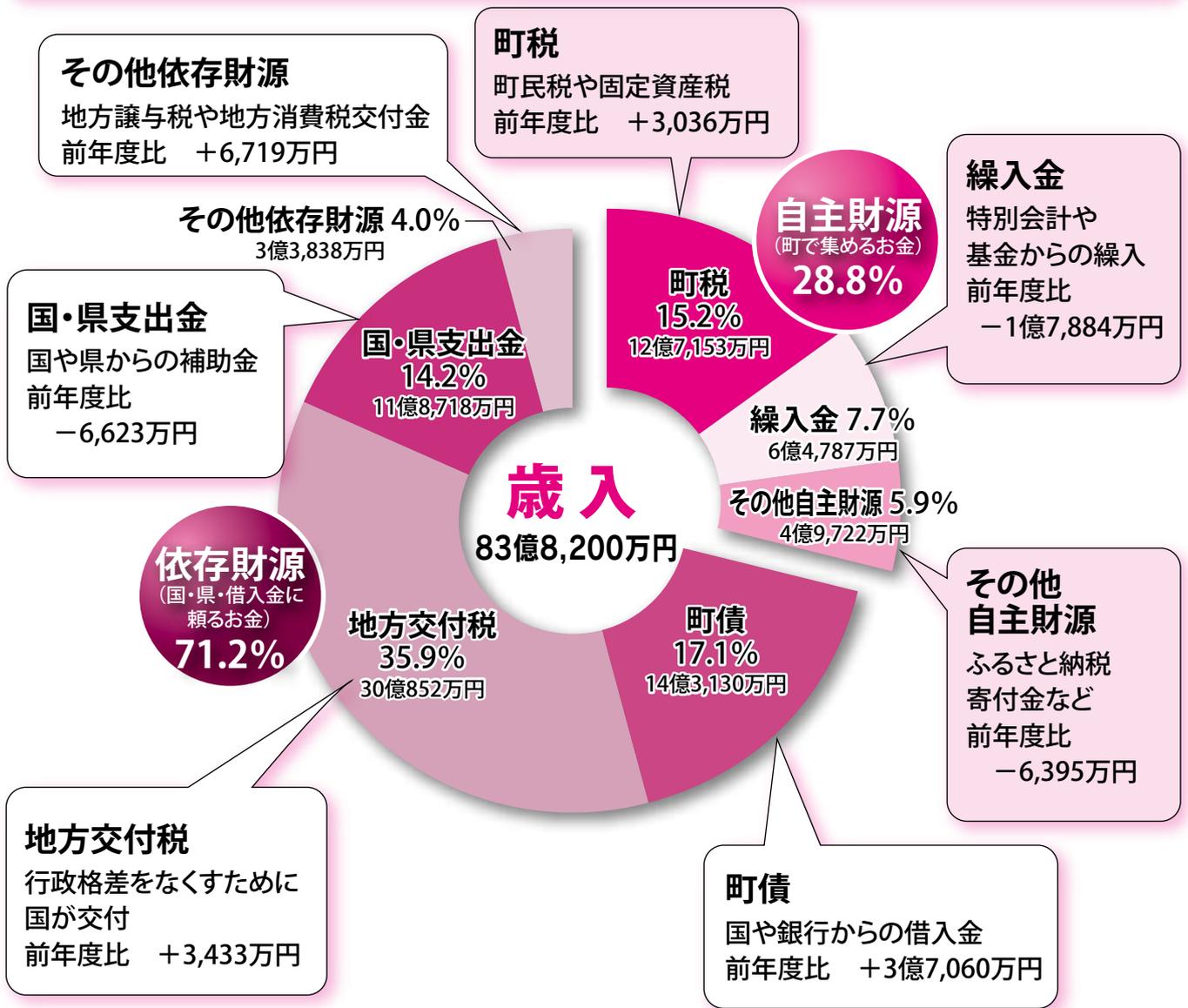
31年度各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計				
			国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
予算額	83億8,200万円	44億6,700万円	14億8,500万円	19億1,600万円	1億7,100万円	7億9,600万円	9,900万円
前年度比	+1億3,300万円	-2億5,170万円	-2億8,500万円	+200万円	+1,280万円	+1,000万円	+850万円

新庁舎建設 12月に着工

歳入の財源は…

農業所得の減少による税収への影響があるものの、法人町民税の9.1%増や、家屋の増新築による固定資産税の増加で町税全体では12億7,153万円、2.4%の増加を見込んでいます。
また、新庁舎建設のため、町の借金である町債も増加計上しています。



水道事業会計

(収益的収入及び支出)

会計区分	収入	支出
予算額	4億4,637万円	4億3,573万円
前年度比	-1,635万円	-1,171万円

町債の推移 (一般会計)

※国からの地方交付税により充当されるものを含む

	地方債残高	償還額
27年度	78億5,891万円	7億7,543万円
28年度	81億1,176万円	7億3,965万円
29年度	81億3,612万円	8億8,323万円
30年度	(見込み) 74億5,614万円	6億8,518万円
31年度	(見込み) 91億5,060万円	(見込み) 7億2,873万円

31年度予算質疑

予算審査特別委員会

3月14日・15日

委員長 松永 裕美
副委員長 筒井 義昭

町民を巻き込み 新庁舎実施設計を

齋藤 武委員

町民全体が対象の、新庁舎基本設計案説明会の参加人数が、わずかに6人であった。

実施設計にあたり、ワークショップ方式の実施など、意識的に町民を巻き込んでいくことが必要ではないか。

総務課長

答 これまで町民代表で構成する建設検討委員会や区長会ほか各種団体での説明や広報等を通じた情報提供、*パブリックコメントにより町民意見の聴取・反映に努めてきた。実施設計は詳細な工事

内容と費用を確定する作業であるため、ワークショップ方式には馴染まないものと考ええる。

*パブリックコメント：行政の政策立案過程で住民の意見を聞く制度

シニア世代の活躍を

土門 勝子委員

年々増加する空き家の適正管理を強化していくことは必須の課題である。

シルバー人材センター空き家対策事業補助金の内容は。

健康福祉課長

答 快適な住環境の確保を図るために、町内の空

き家の管理に地域の元氣な高齢者の力を発揮していただきたいと思っ

ています。補助金は事務局経費に充当され、空き家の管理に係る現地経費は依頼者の負担となる。

草刈りや庭木の剪定など屋外の作業を予定している。

町税のコンビニ納付が可能になるのか

菅原 和幸委員

徴税事務は、町財政面からも、重要な担当部署であり、徴収率も年々向上している。

32年度から「コンビニ納付」を計画、31年度システム改修を行うようであるが。

町民課長

町税等の収納率は7年連続で改善が続いている。このことは、納税者の皆さんが協力されてきたからこそその結果であると考えている。

コンビニ納付は県内で約半数の市町村がすでに実施している。本町も32年度から実施することにより、全国のコンビニから納めていただくことが可能。サービスの向上という形でお応えしたい。

遊佐高校 存続は正念場

筒井 義昭委員

遊佐高校の存続のための支援の継続と充実は重要である。

県外からの入学者受け入れに向け、人的配置も含めた具体的な取り組みが求められているのでは。

教育課長

答 県外志願者の受入れ

地域みらい留学 6つの魅力



地域みらい留学の魅力

については、福島県只見町の山村留学制度を手本に遊佐町版として実施したい。

具体的には、遊佐版留学制度の要項整備、下宿先の確保、生活支援員の配置、東京都などで開催される「地域みらい留学フェスタ」へ参加し、遊佐町をPRする計画を検討している。

教育課長

答 初めて学習支援塾を開催したが、概ね好評であった。

生徒たちへのアンケート調査の結果では、まだまだ支援不足の所も感じられた。

松永 裕美委員

31年度は、講師を1名増員し6名体制とし、生徒たちの要望に応えられるよう改善していきたい。

中3向け支援塾のさらなる充実を

30年度からスタートした学習支援塾に、増額されて10万2千円の予算

新庁舎建設事業 年度別事業概要 (千円)

事業年度	総事業費	主な事業内容	起債対象事業費	起債額	補助金(H33外構工事)	基金	一般財源
H30	130,800	基本設計、地質調査工事、用地取得	4,601	3,400		127,400	0
H31	627,700	実施設計、建設工事、文書管理システム導入、土台化	591,300	532,100		95,600	0
H32	1,122,200	建設工事、機器設備移転経費	1,076,100	968,400		153,800	0
H33	301,000	外構工事、庁舎備品引越料、委託料、現庁舎解体工事	0	0	76,000	225,000	0
合計	2,181,700		1,672,001	1,503,900	76,000	601,800	0

起債額に対する交付税措置 (千円)

	H30	H31	H32	合計
元利償還金総額	3,686	576,885	1,049,907	1,630,478
交付税措置額	1,020	133,042	242,122	376,184
実質負担額	2,666	443,843	807,785	1,254,294

遊佐高校
就学支援の拡大を

齋藤弥志夫 委員

31年度の遊佐高校入学生は18人で定数の半分以下である。遊佐高の存続には従来よりもさらに支援を拡大しなければならぬ。

JRの定期購入の全額無料化など交通対策も重要である。

教育課長

現在、支援の会で行

っている通学対策支援は、JRのない松山・平田方面や浜中方面から酒田駅までを一部負担で通学タクシーを利用できる制度である。

JR利用への補助は、通学タクシー利用と同等の負担となるような制度になるなら検討したい。

新庁舎建設財源は

阿部 満吉 委員

新庁舎建設の基本設計がかたまり、設計管理

総務課長

を含め建設工事費として、6億を超える予算が組まれた。工事のスケジューリングと当初見込まれる建設工事費、建設費の償還計画は、

新庁舎は31年12月着工、32年度内の完成を目指す。33年度の外構・解体工事やソフト事業を含め総事業費は21億8千万円を見込んでいる。

財源は、基金6億円と起債約15億円である。その元利償還金総額の22・5%が普通交付税で還元されるため、実質12億5千万円を30年かけて償還する。

町道維持管理
作業の実態は

佐藤 智則 委員

町道維持管理事業は25年度から始まり2人の作業員が町道のパトロールや路面補修、草刈り等多面的な作業に従事して

地域生活課長

いる。いわば町道における縁の下の力持ちであり、町の評価は。

町道維持管理については、道路作業員がパトロールを行いながら路面状況の確認、また道路標識など交通安全施設の点検、緊急箇所の路面補修、路肩の草刈りなどを行い道路の安全確保に努めている。

健康福祉課長

障がい者が利用する通所事業所の運営は、利用実績に基づく請求により町が支払う給付費により維持されている。

教育課長

通所事業所は様々な物品の制作・販売を行っており、障がい者の就労の意欲を高める意味でも、それらの販売機会の拡大など今後も支援・努力していきたい。

赤塚 英一 委員

障がい者の
自立支援の充実を

通所事業所の運営などに係る予算はどのようになっているのか。

障がい者の就労に関する自立支援の充実は、今後も重要な施策になると思うが。

相反する町政では

高橋 冠治 委員

町は若者定住や少子化対策など努力し成果も出てきた。しかし、小学



町道維持作業

校統合は地域の活力を失い、結果人口流出の引き金になる。町政から見れば相反する施策により重ねた努力が無にならないか。

小学校の統合は、子どもたちの将来を考えた適正審の判断である。一方、藤崎小学校に統合されても、稲川と西遊佐の地域の活力が無くなつたわけでもない。

小学校の統合も少子化対策の一環であるし、定住対策は今後も継続して実施しなければならぬ町の重要施策である。

※適正審：町立学校適正整備審議会の略

一般質問

7議員登壇
3月7日・8日

町の事業と課題を問う!



御浜から見る鳥海湖



山頂からの夕陽

1度は行ってみたい鳥海山

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

か
◎31年度施政方針から見て、時
田町政は「グローバルに考え
ローカルに行動」しているの

齋藤 武委員 …… P 8

- ◎洋上風力発電
- ◎水道法改正
- ◎2025年問題

斎藤弥志夫委員 …… P 8

- ◎遊佐町の障がい者雇用は
- ◎遊佐町における「おとな食堂」の提案

松永 裕美委員 …… P 7

- ◎町民の安全確保にあたって県との連携は万全か
- ◎障がい理由とする差別解消の推進を

菅原 和幸委員 …… P 7

一般質問通告の要旨

- ◎ || 記事掲載あり
- || 記事掲載なし
- (通 告 順)

- ◎遊佐町沖の洋上風力発電
- ◎マイナンバー普及は

高橋 冠治委員 …… P 10

- ◎水産基盤整備事業は
- ◎町道の整備促進および橋梁修繕は

佐藤 智則委員 …… P 9

- ◎新庁舎建設と同時並行して、街中空洞化防止施策を講じるべき(元町活性化施策)
- ◎町における「木育」の取り組みは

筒井 義昭委員 …… P 9

町民の安全確保にあたって 県との連携は万全か



菅原 和幸
議員

町長

河川行政は
県と歩調を合わせて実施

閘 役場新庁舎の周辺は、
月光川の洪水時浸水想定
区域にある。決壊想定位
置は、旧朝日橋付近から、
さらに上流部へ見直しが、
最近行われた。

県内において、洪水時
に流木等が橋脚に詰まり、
水害が発生した事案があ
った。旧朝日橋の橋脚も
10基あり、その危険性が
高いと考える。また、洗



旧朝日橋と洗沢川上流部 (30年8月撮影)

沢川上流部は、河川内に
雑木が繁茂、洪水時に流
木となり、周辺集落への
被害も懸念される。

現在の管理者と経過、
県事業の「ふるさとの川
愛護活動支援事業」の状
況と手続き等はどのよう
なものか。

町長 旧朝日橋の下流に
農道整備事業で、新たに
「新朝日橋」が架設され
た。これにともない旧朝
日橋は、廃道手続きをさ
れ現在に至っている。旧
朝日橋はこれまで、県道
線上に架設されていたこ
とから、現在も山形県の
管理となっている。町と
しては、県に対し橋の撤
去の要望をしてきたが、
未だ実施に至っていない
状況である。

また、「ふるさとの川
愛護活動支援事業」につ
いては、地域住民の皆様
が河川の清掃や草刈りな
どの取り組みをする事業
であるが、事業の実施に
ついては、町を通し県へ
申込み、認定を受けるこ
とになる。



楽しいランチ (まちかどサロン)

遊佐町における 「おとな食堂」の提案



松永 裕美
議員

町長

事業者の考えを尊重し
協議・検討したい

閘 65歳以上のひとり暮
らし世帯は、施設入所者
を除いて本町では705世帯
(30年3月31日現在)と
なっている。4年間で120
世帯の増となり、今後も
増加すると予測される。
高齢になった方々やひ
と暮らしの方がご自分
の健康も考え、孤立せず
に話し相手も出来る気軽
に日中に立ち寄れる「お
とな食堂」もこれからは
必要になるのでは。
「人に良い」と書いて
『食』という字も出来て
おり「おとな食堂」が食
生活を整える手助けとな

れば本町のひとり暮らし
の方や高齢の方々の健康
を支えていく大きな柱の
一つとなるのではと考え
る。

町長 ひとり暮らし高齢
者等の良好な栄養摂取や
孤立の防止は、健康の維
持など生活の質を確保す
る上で重要な課題と言え
る。

町内において、安価で
栄養バランスのとれた食
事を提供している事業者
として、まちかどサロ
ン(ゆぎや食堂)がある。
オープン当初は国・町の
支援があったが、現在は
独立した一事業者として
経営しており、ひとり暮
らしの高齢者を中心に常
連客が増えていると聞い
ている。

収益も少なくスタッフ
が野菜を持ち寄るなど工
夫しているとのこと、
「おとな食堂」的な運営
になっているとも言える
ので、事業者の考えを尊
重しながら、支援できる
ことがあれば商工会と連
携し協議・検討したい。

洋上風力発電の実現性



齋藤 志夫 議員

町長

促進区域は国の法定協議会を経て決定となる

閣 領海内の海域に洋上風力発電の促進区域を定める洋上風力発電普及法が30年に成立した。これまで3年から5年とばらつきがあった事業者の海域占有期間を最長30年間で延長できる。これに



洋上風力発電

め協議会の決定を尊重することにした。促進区域を全国に5カ所程度指定する考えであるが、遊佐町の海域も促進区域に該当するように協議会に要請すべきである。

町長 県は、再生可能エネルギーの主力電源化による地球温暖化対策とエネルギー自給率の向上、県内産業の振興、地域活性化を図るエネルギー戦略のもと自然エネルギーを活用した再生可能エネルギーの開発や促進・地域導入を進めている。

洋上風力発電については県の主導で29年度より可能性に関する基礎調査を実施、また、30年度に入り検討会議や地域部会を開催してきた。

今後も引き続き研究検討を重ね、その後、国の取り組みとなる法定協議会を立ち上げ、「促進区域」の指定を行う。

事業者は公募し、環境アセスメントを実施後、洋上風力発電の建設工事に取掛かることになる。



世界屈指のたぐいまれな海底湧水 釜磯海岸

グローバルでローカルな町政運営を



齋藤 志夫 議員

町長

グローバルな課題は多岐にわたっている

閣 「グローバルに考えるローカルに行動」するとは、地域づくりでも要諦と言える。時田町政発足後10年目の31年度施政方針に、この考え方はどう反映されているのか。例えば、この10年間に世の中は大きく変化した。

一方、遊佐はただの田舎町ではなく「たぐいまれな田舎町」としての力を秘めている。これに対応するには町内の人材と発想に限らず、外部人材のグローバルな視点を取り入れるべきと思うが、基本姿勢が見えてこない。

外部の視点をも取り入れローカルに行動することは、遊佐発展の必須要件と考えるが。

町長 これまでの私の行動、考え方を一部述べると、遊佐ロータリークラブの草の根の国際交流の推進や、文化面では、本町で一番最初の外国人ピアニストの演奏等に自ら関わってきたことが挙げられる。

これまで多くのホームステイの受入、コンサート等に参加し、行動において、積極的に国際交流に関わってきた。

また、町長就任以来の政策として一番大きな地球規模的なことと言えば、風力発電の受入ではないかと考えている。地球にやさしいまちづくりを東北の遊佐町から発信できたことは有意義だと考えている。

考えるのみばかりでなく、自ら行動してきた思いはあるが、ご指摘は真摯に受け止める。

新庁舎建設とともに 町中の元気再生を



筒井 義昭
議員

町長
若者を中心とした
地域振興区域に

元町の空き家・空き店

新庁舎建設計画が進められ、町の中心と成すエリアが創出されようとしている。

同計画と並行して遊佐元町の空洞化防止策と元気再生への取り組みが求められていると考える。



新庁舎 外観イメージ

確なグランドデザインを軸に据えた上で、各課横断により、未来につながる遊佐元町を構築すべきである。

町長 このエリアは、若者を中心とした住宅の造成地として「遊佐町定住促進計画」に基づき賃貸住宅を整備し、定住人口の増加を図ることを目的として進めている。

一方、町内の空き家は、県との連携により、県住宅供給公社が実施する「買取り再販モデル事業」と、「まちの再販支援事業」を遊佐地区内でも実施する計画である。

また、空き家再生地域おこし活用店舗については、地域おこし協力隊の取り組みによる地域活性化と定住を併せた画期的なアイデアとして評価をしている。

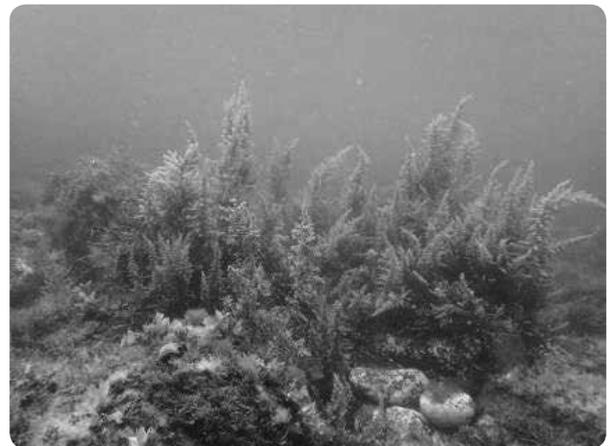
今後は、「空き家等適正管理審議会」とも連携させ、各課横断的な取り組みで元町の活性化を図っていききたい。

漁場整備計画は



佐藤 智則
議員

町長
藻場再生と
岩ガキ増殖礁を設置



アカモク(ギバサ) 29年女鹿小波間海岸

31年度の町長施政方針に漁港漁場整備について藻場造成および岩ガキ増殖礁の設置事業に取り組むとある。遊佐町沿岸漁業の核とも言える岩ガキは、その収穫は激減し、デッドラインに近い状況と危ぶまれている。

「遊佐町海づくりの会」の皆さんが21年度より藻場の実証試験を行っており、試行錯誤の上、アカモクが自生するまでとなり、敬意を表したい。今後の藻場再生を続けていく上で課題はないのか。岩ガキは有限の資源であ

り、食するまで4〜5年要すると言われ、岩ガキ増殖礁設置事業とはどのようなものか。

町長 21年度に取り組みを開始した藻場保全活動は、現在、「遊佐町海づくりの会」が主体となり、女鹿・鳥崎海岸において保全活動を実施している。活動を継続してきた結果、磯焼けなどが原因で藻場が消失した海域において、小型海藻の付着が高密度で見られるようになり、ハタハタの産卵も確認されている。

今後の課題としては、大型海藻の定着が少ないことから定着方法の検討を行い、有害生物の除去作業等を継続していくと聞いている。

岩ガキの増殖礁については、設置個所として女鹿地区の海域を予定している。29年度から調査測量を実施しており、31年度は陸上で増殖ブロックを製作し、32年度から33年度にかけて海域への設置工事を予定している。

洋上発電は幅広い町民理解を



高橋 冠治
議員



町民と漁業関係者の
合意形成が重要

問 現在、県は遊佐沖海上に洋上風力発電事業を
目指し「遊佐沿岸域検討
部会」を立ち上げ4回ほ
ど開催している。
部会の構成員は県・町・
国の研究機関や町の各地

区・各団体の代表や水産
関係者等である。

6地区で説明会を開催
したが参加者は少なく町
民の関心は薄い。

事業が計画通り進めば
4～5年で建設工事が始



町民理解を（洋上風力発電）

まり、10年後の運転開始
を目指している。

予想だが最低30基～50
基の風車が海上に立ち並
び、漁業や海岸浸食・景
観等の影響が心配される。
町民の幅広い理解が必
要であるが町の考えは。

町長 遊佐沿岸域への洋
上風力発電の導入につい
て、漁業や観光・産業な
ど地域との共生や理解を
図るため、生涯学習セン
ターでの講演会や各地区
への説明会を開催した。

地区説明会においては
参加人数が少なく、十分
な町民理解には至ってい
ない状況である。

30年度の検討結果を基
に31年度も引き続き、「遊
佐沿岸域検討部会」を継
続し議論を深めていくこ
ととしているが、まずは、
町民や漁業関係者の合意
形成が重要であると考え
る。

町民より理解を得られ
るよう引き続き、地区説
明会等の開催を県に働き
かけていきたい。

請願採択

全員賛成で採択、意見書を提出

無秩序なライドシェアの導入に反対し
タクシー事業の維持・確保を求める請願

請願者

一般社団法人山形ハイヤー協会会長 石川 康夫
全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部
執行委員長 遠藤 栄二

免許返納者を含む高齢者や障がい者等の

交通手段として町がすすめるデマンドタクシーや

福祉タクシーに影響を及ぼさないよう意見を付した。

意見書要旨

提出先

1、安全の確保、利用

者の保護等の観点

から無秩序なライ

ドシェアの導入は

行わないこと。

2、地域の公共交通と

して大きな役割を

担っているタクシ

ー事業と社会生活

面でニーズが高ま

ると推測される交

通機関のシェアリ

ング事業が協調し、
共に発展できる施
策を講じること。

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

国土交通大臣

内閣府特命(規制改革)担当大臣

平成31年3月15日提出

※ライドシェア：ここでは一般
運転者が自家用車を用い、有
償旅客運送を行うこと、また
は仲介することをさす。



町民に愛される新庁舎建設を

庁舎建設に関する調査特別委員会 調査結果報告

新庁舎建設の基本設計が固まったことから、
建設にともなう課題解決を議会として町に求めました。

新庁舎の構造・設備の
詳しい説明を

32年度までに
実施設計することで、
国の財政支援が延長になったことから
町民の意見を聞きながら
建設は十分な時間を

建設による周辺への
生活環境変化を調査し
住民の理解を得る対応を

周辺幹線道路への
つながりに配慮を

建設の事業経過と
関連総事業費
後年度負担等適時に説明を

町民窓口イメージ

若者向け住宅建設を民間公募に

3億4,100万円減額し 総額86億8,100万円に

30年度末にあたり、事業の確定から予算を減額し31年度に備えた。

30年度 補正予算質疑

補正予算審査特別委員会

予算審査

一般質問

委員会報告

補正予算審査

採決結果

3月6日

委員長 菅原 和幸

副委員長 齋藤 武

協力隊員募集の あり方は

齋藤 武 委員

問 地域おこし協力隊員の採用者が予定数に満たなかったことから、減額予算が組まれた。売り手市場のこの時代に、現状に即した対策をどう考えているのか。

企画課長

答 協力隊員のジョパーク活動業務、結婚支援推進業務、ブランド推進業務の採用予定3名について30年度内の採用ができないため、年間謝礼、隊員用自動車借上料、住居借上料を減額補正した。雇用情勢が好調に推移している現状では、応募は厳しいが、各方面に情報を発信し応募してもらえるよう努めたい。

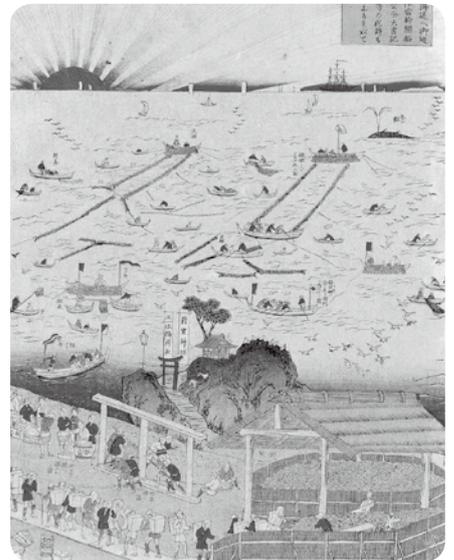
青山本邸誘客策は

筒井 義昭 委員

問 青山邸展示用、錦絵「鯨大漁 概況之図」の購入費用が補正計上された。

教育課長

答 旧青山本邸の誘客策として、季節ごとの展示やおひな様展示に加え、今回は遊佐刺し子展や映画「サムライマラソン」



「鯨大漁 概況之図」の部分

のロケ展を行った。新たに購入予定の錦絵は北海道にのみ数点存在し、本州では初となる大変貴重なものである。今後、常設展示を行い来館者増につなげたい。

ドローンによる 松くい虫防除を

高橋 冠治 委員

問 今、国会で航空法が改正される見通しである。これにより、地形の3D情報を、ドローンに組み込むと自動飛行での空中防除が可能になり、適期に効果的な防除ができる。

今後、ドローン防除の町の対応は。

産業課長

〔答〕 本町は、松くい予防対策として薬剤の空中散布を実施しているが、今後は、費用対効果の高いドローンによる散布が主流になっていくと聞いている。

すぐにドローンを使用した防除に移行することは出来ないが、防除を実施するために必要な実施主体の選定や林道整備など検討していく必要があると考えている。

教室改良工事とは

佐藤 智則 委員

〔問〕 町の各学校には必要に応じ特別支援教室があり、在校生の情操教育にも寄与していると思う。普通教室とは異なり、児童に合った調和のとれた指導が求められる。

この工事はどのようなものか。

教育課長

〔答〕 この小学校にはすでに特別支援教室があり、児童が在籍している。31年度に状況のちがう



ドローン

児童が入学予定で、これを別々にして、落ち着いた環境をつくるため、教室を2室に改修する工事になる。

冬期間の高齢者「町内移住」施策を

松永 裕美 委員

〔問〕 高齢者の方が除雪を行うのは大変困難なことである。雪対策として山間部に住む高齢者の方々が生活に便利な町中の空き家に冬期間だけ住めるような「町内移住」施策も今後は必要になるのでは。

町長

〔答〕 町内の山間部における高齢者世帯のケアとして、空き家を活用した冬期間の住み替えは新しい発想と思う。

今後、学校施設が空くことが想定されるので、そのような活用も含めて検討すべきではと思った。新しい課題として受け

止め、社会福祉協議会など関係者と意見交換したい。

遊佐保育園 駐車スペースは

阿部 満吉 委員

〔問〕 遊佐保育園に施設整備の予算が組まれている。駐車スペースの不足は前から指摘されていたが、「ゆうすい」との間の環境整備はできないのか。

健康福祉課長

〔答〕 都市公園「ふれあい広場」内北東側に約680㎡、20台分の駐車場を、31年度の計画を前倒しで整備するもの。

これまで駐車場として利用してきた民間アパートと特養「ゆうすい」の間の空き地については、定住促進のための賃貸住宅用地として、民間事業者の募集を行う予定となっている。

酒田遊佐工業団地 企業誘致

斎藤弥志夫 委員

〔問〕 特殊金属加工工場が稼働したり町内の企業誘致は一定の成果を上げている。

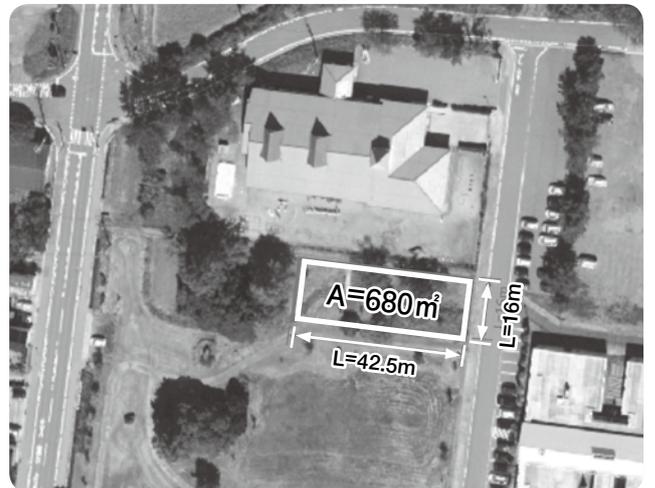
誘致した企業の撤退などはあるのか。さらなる企業誘致があれば望ましいことではあるが現状はどのようなものか。

産業課長

〔答〕 誘致した企業の中で撤退した例はないと認識している。

現在、鉄工事業所が新設を計画。木質バイオマス発電事業者が鳥海南工業団地に建設を希望している。

バイオマス発電所については、遊佐町及び酒田市で進出に伴う地元説明会を開催しており、31年度内の決定に向けて調整を図っていきたい。



遊佐保育園の駐車場予定地

3月定例会の議案結果（30年度一般会計補正予算他、37件）

議案番号	議案名	内容	審議結果
請願第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願	インターネットを利用したライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求めるもの	全員賛成で採択
議第1号	30年度遊佐町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	新庁舎建設用地造成工事、小中学校エアコン設置工事費を31年度へ繰り越すもの 2億7,791万円	全員賛成で承認
議第2号	30年度遊佐町一般会計補正予算(第5号)	年度末を迎え予算を精査し3億4,100万円を減額。P12～13に関連記事	全員賛成で可決
議第3号	30年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	保険給付費の増額などで3,200万円を追加	全員賛成で可決
議第4号	30年度遊佐町介護保険特別会計補正予算(第4号)	介護事業の確定により、80万円を減額	全員賛成で可決
議第5号	30年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	後期高齢者医療連合会負担金など、1,320万円を減額	全員賛成で可決
議第6号	30年度遊佐町水道事業会計補正予算(第4号)	起債限度額の修正	全員賛成で可決
議第7号	31年度遊佐町一般会計予算	83億8,200万円 P2～5に関連記事	全員賛成で可決
議第8号	31年度遊佐町国民健康保険特別会計予算	14億8,500万円	全員賛成で可決
議第9号	31年度遊佐町公共下水道事業特別会計予算	7億9,600万円	全員賛成で可決
議第10号	31年度遊佐町地域集落排水事業特別会計予算	9,900万円	全員賛成で可決
議第11号	31年度遊佐町介護保険特別会計予算	19億1,600万円	全員賛成で可決
議第12号	31年度遊佐町後期高齢者医療特別会計予算	1億7,100万円	全員賛成で可決
議第13号	31年度遊佐町水道事業会計予算	収益的支出4億3,573万円 資本的支出2億9,330万円	全員賛成で可決
議第14号	遊佐町森林環境譲与税活用基金の設置、管理及び処分に係る条例の設定	31年度から交付される森林環境譲与税を有効活用するため、基金・管理を規定	全員賛成で可決
議第15号	遊佐町教育研究所設置条例等を廃止する条例の設定	山形県教育研究所連盟の解散に伴い、遊佐町教育研究所設置条例を廃止	全員賛成で可決
議第16号	遊佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正	満30歳、満40歳、満50歳の職員に対するリフレッシュ休暇(特別休暇)の導入	全員賛成で可決
議第17号	遊佐町青少年育成協議会設置条例の一部を改正	委員の任期及び再任に関する規定を整備	全員賛成で可決
議第18号	遊佐町国民健康保険条例の一部を改正	国民健康保険の被保険者の適用除外対象を規定	全員賛成で可決
議第19号	遊佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正	放課後児童支援員の資格要件を拡大するもの	全員賛成で可決
議第20号	遊佐町水道給水条例の一部を改正する条例の制定	水道布設工事監督者の資格に係る対象試験科目から水道環境を削ることを規定	全員賛成で可決
議第21号	町道路線の廃止及び認定	町道畑西線道路改良工事に伴うもの	全員賛成で可決
議第22号	遊佐町体育施設の指定管理者の指定	指定管理者を従来の遊佐町体育協会に再指定	全員賛成で可決
議第23号	遊佐町立図書館の指定管理者の指定	指定管理者を従来の遊佐ショッピング協同組合に再指定	全員賛成で可決
議第24号	遊佐町固定資産評価審査委員の選任	委員に村井美恵子氏(再任)	全員賛成で同意
議第25号	人権擁護委員候補者の推せん	委員に土門尚三氏(新任)	全員賛成で同意

議案番号	議案名	内 容	審議結果
議第26号	人権擁護委員候補者の推せん	委員に工藤喜代子氏(新任)	全員賛成で同意
議第27号	人権擁護委員候補者の推せん	委員に高橋栄子氏(新任)	全員賛成で同意
議第28号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱	委員に土門秀樹氏(再任)	全員賛成で同意
議第29号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱	委員に高橋繁子氏(再任)	全員賛成で同意
議第30号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱	委員に土門 豊氏(再任)	全員賛成で同意
議第31号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱	委員に伊藤智子氏(再任)	全員賛成で同意
議第32号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱	委員に東海林和夫氏(新任)	全員賛成で同意
議第33号	蕨岡・遊佐小学校エアコン設置工事請負契約の締結	契約金額 4,968万円	全員賛成で可決
議第34号	高瀬・吹浦・藤崎小学校エアコン設置工事請負契約の締結	契約金額 9,963万5,400円	全員賛成で可決
議第35号	30年度橋梁長寿命化修繕計画事業西浜橋補修工事に係る請負契約の一部変更	西浜橋の修繕工事の追加で648万5,400円を増額	賛成多数で可決
議第36号	遊佐町過疎地域自立促進計画の一部を変更	計画に消防本部本署整備事業や学校給食施設等整備事業を追加	全員賛成で可決
発議第1号	無秩序なライドシェアの導入に反対し、タクシー事業の維持・確保を求める意見書の提出	P10に意見書を掲載	全員賛成で採択

3月定例会の傍聴者数

(単位:人)

日 程	内 容	男	女	計
3月5日(火)	本会議・補正予算上程	0	1	1
3月6日(水)	補正予算審査特別委員会・本会議	1	3	4
3月7日(木)	一般質問	20	13	33
3月8日(金)	一般質問・31年度予算上程	3	1	4
3月14日(木)	予算審査特別委員会	1	1	2
3月15日(金)	予算審査特別委員会・本会議	1	1	2
計		26	20	46

●30年度の自治功労者として下記の議員が表彰されました。

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

■議員在職15年以上

議 員 佐 藤 智 則
議 員 阿 部 満 吉
議 員 赤 塚 英 一

山形県町村議会議長会 自治功労者表彰

■議員在職11年以上

副議長 土 門 勝 子
議 員 筒 井 義 昭

議会を傍聴してみませんか

5月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。5月定例議会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。一度傍聴してみませんか？

〈傍聴の受付方法が変更になります〉

これまで、議会の傍聴にあたっては、傍聴人受付簿に住所および氏名を記入をお願いしていましたが、傍聴者の個人情報に配慮し、5月定例会からは傍聴人受付票(個票)に住所および氏名を記入し、備え付けの傍聴人受付箱に投函していただくことになりました。

5月定例議会の予定

5月23日(木) 本会議・一般質問・常任委員会

5月24日(金) 補正予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真

今日から1年生

令和元年となる今年の1年生は、蕨岡小12名、高瀬小14名、吹浦小16名、藤崎小15名、そして遊佐小24名(写真)合わせて81名が仲間入り。ちなみに遊佐町の小学生は522名。中学生は1年生102名を含め311名とのこと。あたたかく見守っていきまいたい。



議会クイズ おかげさまで100回



平成31年2月1日第143号の議会クイズには76名の方の応募があり、74名の方が正解でした。抽選の結果次の10名の方が当選し、あぼん入浴券(3枚)をお届けします。

答え ①B ②A ③A (敬称略)

伊藤 順子(平津) 斎藤 ふさ子(出戸) 斎藤 和雄(宿町三) 斎藤 京子(坂ノ下) 畠中 憲子(湯ノ田) 本間 清子(六日町) 池田 ひとみ(旭ヶ丘) 池田 卓也(旭ヶ丘) 高橋 あき子(八日町) 石垣 よしみ(西谷地)

①新庁舎建設費の実質償還金は、何年かけて返済するのか?
 A 3年 B 13年 C 30年

②30年3月31日現在の65歳以上のひとり暮らしの世帯数は?
 A 7世帯 B 75世帯 C 705世帯

③青山本邸で購入予定の錦絵に描かれている魚は?
 A 鯛(タイ) B 鰻(ニシン) C 鱒(ハタハタ)

応募方法
 ハガキに答えの記号(例①A ②B ③C)それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。(ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません)

☆ 今回100回を記念し、通常10名のところ20名の方にあぼん入浴券(3枚)をお届けします。

☆
 あて先/999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 役場内 議会事務局 締め切り5月24日 発表は次号です。

編集室より

雪の少ない冬が終わったかと思えば、桜の花に積もる雪がテレビから流れてくる。春らしい、夏らしい、秋らしい一年であってほしい。

議会クイズはがきに記されたコメントからいくつか。
 ○遊佐らしい新庁舎とは…鳥海山が望めるカフェコーナーもイイね。
 ○高齢者にとっては平面庁舎が有難いですよ。

○庁舎の先進地視察を見て、どんな庁舎になるか楽しみ。
 ○デマンドタクシーで、酒田まで行けるといいね。

- 発行人 議長 土門 治明
 議長 齋藤 武
 委員長 阿部 満吉
 副委員長 齋藤 武
 委員 齋藤 弥志夫
 委員 佐藤 智則
 委員 赤塚 英一
 委員 松永 裕美